

# 運輸安全マネジメントレビュー議事録

実施日時	令和6年3月25日	参加メンバー	齋田孝代表取締役・統括運行管理者・整備管理者・本社営業課長
＜ 情 報 の 共 有 ＞			
«項目»		«内容»	
★従業員への安全方針の浸透・定着状況		朝礼時において当日出勤者全員による当社の「安全方針」の唱和	
★安全重点施策の進捗・達成状況		人身事故は勿論、物損事故も今年度は少なかったが、これは大変喜ばしい事であるが、コロナ禍により運行回数の減少も考慮されるべきで最近インバウンドの増加に伴う事故の危険性があり、乗務員一同気を引き締めて運行するように注意喚起を促している。	
★情報伝達・コミュニケーションの確保状況 ※内部・外部のコミュニケーションは確保されているか		スマートフォンを活用し乗務員及び運行管理者、整備管理者並びに補助者全員が共有できるラインアプリを設定し、日々の現場情報や伝達事項が共有できるようにしている。又、これらの情報を運行管理者が管理し、外部からのお客様からの情報や、苦情があった場合には必ずすぐに載せ、定期的な研修会のテーマにも提唱課題として取り扱うようにしている。	
★是正予防処置の実施状況 ※事故の再発防止策・ヒヤリハット対策はできているか		ドライブレコーダー動画を定期的に回収して各運転者が日報にも取り上げていない「ヒヤリハット体験」はないか閲覧し研修会のテーマにも取り上げている運転者の多くは、ヒヤリハット体験を持っているので非常に具体的で事例や危険箇所を共有することができ再発防止にも役立つ。	
★安全管理体制の現状と見直しの必要性 ※組織は適切に機能しているか		安全管理体制は現在効果的に機能している。 只、運転者の高齢化に伴いより各運転者の健康管理に心配なことも出てきます。 今後は特に運転者の健康管理に特に注意を払い運行の安全を図れる先進的な装置の設置に企業としても努力します。	
★内部監査の結果		内部監査は毎年12月に行い、役員及び運行管理者、整備管理者が毎月の輸送実績及びお客様からのご意見に基づき「より安全な運行」「より快適な運行」が行われているか検証している。	
★現場からの改善提案 ※ボトムアップで改善を進める気概があるか		会社内に「目安箱」を設け各運転者や一般事務員に至るまで営業に関してや運行に関すること等で気が付いた音を投函するようにしています。 1週間に1回は運行管理者が確認し、役員会に報告するようにしています。又、急ぎの場合はスマホラインで全社員が共有できるように体制をとっております。昨年度はコロナ禍による高齢運転者の退職者もあり逆に今期の新人教育に重点においてほしいとの要望された。	
★昨年度のマネジメントレビューへの対応状況		昨年度の安全マネジメントにおいては、乗務員が全員参加する定期研修会でもその成果を伝達されました。 指摘事項は概ね達成されましたがコロナ禍における運行であったため通常業務における危険性は少なかったものとみられ現状に満足することなくより一層安全性の向上を意識すべき考えられます。	

※昨年の指示事項には対応できたか	
★外部からの安全に関する要望・苦情	昨年度は、外部からの供養は見られず、新規採用運転者に対しマナー教育を推進している。
★巡回指導・保安監査の結果	統括運行管理者による不定期的な巡回監査、巡回指導を行い乗務員の日常活動の注意点等の指導を行い、各現場での要望を取り入れや相談を受けている。結果に対しては安全統括管理者は必ず安全対策会議での報告を行っている。
＜ 改 善 と 提 案 ＞	
★安全目標・施策について	『無事故・無違反は当然のことで全社員が明るく働きやすい職場づくり』こそがお客様の安全につながるものと考えお客様とのコミュニケーションを常に取りながら今後とも地元に着し愛される経営を目指します。
★サービスの改善	運行中においてもお客様ご案内するサービスの充実を図るため乗務員のマナー研修や各地の地理・歴史・飲食・娯楽施設の情報を共有してすべての乗務員が充実板ご案内ができるように改善していく。
★投資について	安全性向上できる先進的機器を積極的に導入していく。
d)その他	点呼の動画や録音が義務化されたのでその資料を積極的に活用して研修にも活用する
＜経営者による指示事項＞	今後、インバウンド需要の向上が見込まれるため語学研修も重点を置く。